スポット

泉ピン子さん講演会

東広島芸術文化ホール「くらら」の4月1日開館に先駆け、3月26日午前10時半から記念式典を催す。一般公募の800人を招いて午後1時半から泉ピン子さんの講演「おんなは一生懸命」もある。

くららは1206席の大ホールをはじめ、サロンホール、小ホール、市民ギャラリー、レストランなどを設ける。高級グランドピアノ「スタインウェイD・274」を置くほか、シューボックス（長方形）空間による優れた音響性能を備える。

既にコンサートなどの会場予約が順調に埋まっており、▽4月8日＝日本フィルハーモニー交響楽団、▽16日＝仲道郁代（ピアニスト）、▽6月5日＝谷村新司、▽11日＝山下洋輔（ジャズピアニスト）、▽7月8日＝がーまるちょば（コメディアン）、▽26日＝劇団四季、▽8月21日＝広島交響楽団―など。早や音楽ファンの胸を躍らせている。

仿古堂の熊野筆

1900年創業の仿古堂（安芸郡熊野町）の書筆が、市の「第9回ザ・広島ブランド」の工芸品部門に認定された。2月10日にあった認定式で、柔らかい毛と硬い毛を組み合わせた〝兼毫〟筆「廣島」と原爆死没者名簿の記帳に使われる小筆「芸州」、版画家の棟方志功（むなかたしこう）が愛用した「屋漏痕（おくろうこん）」の3本を披露。丹羽宏社長は、

「熊野筆の書筆は国の伝統的工芸品にも指定されており、ブランド認定を機に、品質の良い筆づくりに一層まい進したい。パソコンを使う時代になり、書筆を使う人は本当に少なくなった。日本の書道文化の継承と発展を願って進化し続け、熊野筆を通じて広島を全国にPRできれば」

地元では、秋分の日に「筆まつり」を開催している。さらに筆を使う機運を高めようと業界や行政などに働き掛け、2008年の熊野町制90周年記念事業として、春分の日の3月20日を「筆の日」とした。熊野筆のザ・広島ブランド認定は同社のほか、丹精堂（化粧筆）、一休園（書筆）、松月堂（画筆）、晃祐堂（化粧筆）が受けている。

合同企業説明会

東広島市やハローワーク広島西条などでつくる市雇用対策協議会は3月9日午後1時半から、来春卒業予定の学生対象に「就職ガイダンス（合同企業説明会）inひがしひろしま」を東広島運動公園アクアパークの体育館サブアリーナで開く。

参加企業は60社で、同市ホームページ（http://www.city.higashihiroshima.hiroshima.jp/soshiki/30/sg201603.html）から一覧を見ることができる。さらに就職活動を後押しするため、多くの大学就職部や学生から地元企業の研究、就職先探しに利用されている広島経済研究所発行の書籍「2016年版ひろしま業界地図」を、先着の学生30人に贈る。

市産業振興課は、「同書籍を通じて地元企業や業界を幅広く知ってもらい、就職先を決めるきっかけになればと願っています」

（電）082－420－0921。

コシバ五輪

県内最大手の小柴クリーニング（呉市）は全8工場を休業し、2月23日に東広島工場で「輝け第1回コシバ技能オリンピック大会」を開いた。顔を合わせる機会の少ない工場スタッフが一堂に集まり、さらに技術向上のモチベーションを高めるのが狙い。

パート社員中心のスタッフ200人以上の中から53人が3種目に挑んだ。ワイシャツ部門3人、ズボン部門2

各店独自の自慢のコース料理が味わえる
歓送迎会プラン
6,000円より（税・サ込）
特典 いろいろご用意しています
飲み放題付《2時間》
［酒・ビール・焼酎・ソフトドリンクなど］

広島駅ビル店 2時間飲み放題付
歓送迎会6000円（税込）コース
（掘りコタツ式個室・お座敷）2～26名様

前菜盛合せ・ふぐ刺し・鯛姿煮・鮪柚庵焼き・カキフライ・小鮎唐揚げ・ローストビーフ・海老釜飯・赤だし・香の物・デザート
※写真はイメージです。
▲歓送迎会6,000円コース（税込）

広島の旬な味をお届けして65年
釜飯酔心（すいしん）
酔心本店/中区立町6-7 釜飯酔心 検索
●本　店☎247-4411 ●寿司酔心 ☎247-2331
●毘沙門店☎879-2211 ●新幹線店 ☎568-2251
●広島駅ビル店☎568-1120 ●惣 菜 店☎247-9581
●イオンモール広島府中店 ☎510-3301

人のチーム制で、10分間の洗濯～仕上げ枚数を競った。ワイシャツは本社吉浦工場のベテランチームが29枚で優勝。ズボンは吉浦、三原、廿日市の3工場が各12枚。種類が混在する仕上げ衣類100枚を番号順に並べ替えるタイムも競った。実行委員長の尾野伊佐子祇園支店長は、

「スタッフの交流も大きな収穫でした。1工場は小さくても当社の規模を初めて実感し、大いに意識も高まったようです。本当に楽しく、やってよかった。来年もやる気満々」

千羽鶴で神楽面

石見神楽プロジェクト（浜田市）は、広島平和記念公園にささげられた千羽鶴を使った、石見神楽の面を試作している。

千羽鶴をシュレッダーで粉砕し、面型造りの前工程で、石州和紙の切れ端と混ぜ接着させ、型の原料として使う。昨年のビジネスフェア中四国で、西日本エコグリーン会の事務局長を務める山一建機の山根一行社長から声を掛けられ試作を始めた。

同プロジェクトは石見神楽に憧れる人材の生活基盤の確保と、神楽を通じた地域社会貢献を目的に、14年1月に発足。浜田市の石見産業支援センターに事務所を持つ。季刊誌「石見神楽通！」の発行や鑑賞ツアーほか、関連グッズの販促、ガイド養成講座の受託、定期公演支援などを行う。

西村神楽社中代表も務める日高均代表は、

「接着剤を混ぜるため、粘土割りの工程で型から抜けにくい難しさがありますが、工夫して商品化を実現したい」

睡眠から活力を

カウンセリング、植物療法ショップの三十八花堂（中区八丁堀12－8）は、県内の保育園児～大学生の睡眠の質を向上させる活動に必要な資金を、クラウドファンディング（ネット募金）サイト「REDYFOR」（https://readyfor.jp/projects/7059）で募っている。

1口3000円～で、締め切りは3月31日。同店は昨年から、県内に6人しかいない上級睡眠健康指導士を1人配置。相談者に合わせた睡眠スケジュールの作成や、光量、寝具、香り、湿度などによる、よい眠りを得られる環境づくりをサポートしている。相談者は医療従事者や工場勤務の労働者が主だが、子どもや学生の相談が増えていることから対象を広げる。保田麻月子代表は、

「睡眠不足は疲労がたまるだけではなく精神状態が不安定になったり、生理不順の原因になります。上級睡眠健康指導士やヨガインストラクターを教育現場に派遣し、正しい知識や眠り方を子どもたちに伝えたい」

休廃業・解散選ぶ

帝国データバンクの調査によると、県内で昨年に「休廃業・解散」した企業（個人経営含む）の件数は、前年比16・2％減の695件だった。

2年連続で前年を下回り、5年ぶりに700件を割った。過去10年間で2番目に少ない件数となったが、昨年170件だった「倒産」件数（法的整理だけで、負債1000万円以上）の4・09倍に上っている。業種別で最も休廃業・解散が多かったのは建設業の240件で、以下サービス143件、小売り122件と続く。また、休廃業・解散695件のうち、代表者の年齢が判明している591件中で、70歳以上が36％を占め、60歳以上では7割を超えた。中小企業金融円滑化法の終了後も返済猶予を受け続ける企業が多く、倒産は抑制傾向だが、

「法的な整理に至らなくとも、業績の回復が期待できない中で、代表者の高齢化や後継者不在などの問題がある。スムーズに事業承継が進まないと、年を追うごとに休廃業や解散を選ぶ企業は増える」と同社はみている。

有鶴
日本料理
なにわ
Japanese Restaurant NANIWA
リーガロイヤルホテル広島6F
直通 ☎228-5919

有鶴
瀬戸内味覚処
六州本店
ひろしま国際ホテル2F　直通 ☎248-2558
http：//www.kokusai.gr.jp

有鶴
日本料理
雲海
ANAクラウンプラザホテル広島5F　☎241-1117(直)
http：//www.anacrowneplaza-hiroshima.jp

有鶴
仏蘭西屋
東広島市西条本町9-11　☎082-422-8008
http：//www.france-ya.jp